

おてんき てんきII

〈2025〉 RANKO



締切 9月30日必着
あて先 〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-20
新婦人しんぶん「パズル」係

タテのカギ

- 1 ヲモミジのかんざし、□□の櫛
- 2 「□□の世界」まだ知らないこと
- 3 暮や将棋の対局の記録
- 4 女如花、桔梗、撫子、秋の□□
- 5 17 甚や将棋の対局の記録

☆8月のパズルの答えは「アサクラキョウコ(朝倉響子・彫刻家)」でした。正解者960人の中から抽選で30人にクオカードを送ります。(敬称略)

赤崎富美子、天沼文子、石坂房子、伊東恭子、伊藤豊子、上田美津江、渡橋厚子、垣谷一子、金森千鶴子、川崎恵子、河村美保、久保田正子、桑原英子、小島宣子、篠原サヨ子、高橋英子、竹内純子、田島千代子、寺島美蘭子、富永ゆり、中塚真弓、中

ア	ジ	ソ	ウ	メ	ン
イ	シ	オ	キ	カ	キ
ス	エ	イ	シ	ク	ゴ
フ	ヨ	ロ	ウ	シ	オ
ト	ウ	ロ	ハ	シ	ラ

野上恵、長谷川文枝美、妻沼美代子、益子、松尾信子、松本幸美、宮川佳子、村田千穂、山口美子

お盆になると思い出すのは母の作ってくれた田舎です。近海から朝入荷の鰯や鰯や手づくりコンニャクなどの押しずしや昆布の巻きずし、

「のっぺ」が有名です。優しい味わいのしょうゆ味で(昆布やカツオ節、目柱)さじも、揚げ、鶏肉をベースに、ニンジン、レンコン、し

いたけ、コンニャクなど、とにかく具たくさんで煮て、最後に、水溶き片栗粉でとろみをつけます。夏は冷たくして食べてもいいです。

新潟・上越市 空

母のつくる田舎寿司

大阪・八尾市 藤岡末子

私の故郷は紀伊半島の南端の那智勝浦町です。今は父母ともに亡くなり、もうだれも住んでいませんが、山と川の美しい農村です。

高菜の目はりずしなどです。素朴ですが、どれも母

夏は冷たくしても

テーマ 故郷ごはん

がーから手づくりしたもので、添加物なしで安心して食べられました。

岩手・奥州市 相澤紀子 80

みそかんぷら

ジャガイモの収穫時、大きなジャガイモと同時にかわいい小さなジャガイモがたくさん出てきます。私の育った福島ではその小さいのを油で炒めて水を入れて柔らかくなるまで煮て、水分を飛ばしたところにみそを砂糖や酒、みりんなどで溶いて、ジャガイモにからめて「みそかんぷら」を母

岩手・奥州市 相澤紀子 80



和歌山市 大平喜代 (79)

やみつきに
青森市 渡辺幸子

友だちからキュウリをたくさんいただきました。簡単にできる料理が

ないかとスマホで検索していたら、「キュウリのQちゃん漬け」のレシピがありました。

作り方が簡単そうなのでさっそく作ってみました。次の日食べたたら、ポ

リポリ食感が最高で、やみつきになりそうです。

読者がつくる ページ

言ってもどうにもならないのに「暑い！」と口に出してしまいます。時期に合わせて交わっていた季節の言葉がすっかり使えなくなったり、ちよと見ごろかと訪れたら、すでに枯れ果てた花にがっかりしたり、地球温暖化は目に見える形になってしまいました。

暑さ対策のアレコレも考えねばなりません。根本的に温暖化を止めることこそもつと話題にあげなければと思います。

群読の担当です
川崎市 小林光孝

98歳と6カ月、猛暑はとりわけ老体にはこたえます。週2回のプールを歩くデイサービスは皆勤賞。歩行器とバスで、これも週2回はりきゆう

新婦人★パズル

- 1 十五夜のお□□
- 2 旧暦9月9日の□□
- 3 節句は？
- 4 9月1日は何の日？
- 5 待つと暮らせ
- 6 どのぬ人を…
- 7 マグロではない
- 8 □□マグロ
- 9 寝間着のこと
- 10 普通とよすが
- 11 異なる
- 12 ヒヨコのこと
- 13 横断□□を持つ
- 14 磁石を英語で言うこと？
- 15 一面に塗りつけること
- 16 女如花、桔梗、撫子、秋の□□
- 17 甚や将棋の対局の記録

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

1		2		3		4
		①				
		5	6			
		7		8		③
9						10
				②	11	12
		⑥				
13			14			15
16						17
						⑤

出題：RIN

新婦人管みずき班の班会には毎回車で送ってくる方があり、助かっています。班会のなかで、「群読」のテキストをつくる担当です。戦後80年原爆関連の詩、「生まれ

アルバイトが4年目に入り、契約更新時に意見を申し出たら、雇い止め

にあった。後を継いでくると、健康な間は続けたいと思っ

も休まず行って、何とか一人暮らしを保っています。

めんかな(栗原貞子)「その他をとりあげ、読んでいます。」

原稿募集
☆テーマ：暑さどうする？/戦後80年と私/故郷ごはん
投稿や作品をお待ちしています。また、紙面への要望・意見などお寄せください。投稿は300字前後、短くする場合があります。住所・氏名・年齢・電話番号を、匿名希望の方はペンネームを書いてください。掲載した絵手紙は新婦人のSNSに転載する場合があります。

あて先 〒112-0002東京都文京区小石川5-10-20
新婦人しんぶん編集部
ファクス03-5805-2372
Eメール s-press@shinfujin.gr.jp